

船舶事故調査報告書

平成22年5月13日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	不明（平成22年2月18日 07時50分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（長崎県壱岐島南西方沖の平島付近（概位 北緯33°41.9′ 東経129°37.4′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成22年2月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長及び甲板員からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第七 ^{きょうしん} 恭神丸、16.0トン SN2—2584（漁船登録番号）、個人所有 16.66m(Lr)×4.08m×1.55m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数150、平成4年3月28日
乗組員等に関する情報	船長 男性 60歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成12年7月4日 免許証交付日 平成21年2月2日 (平成26年7月17日まで有効) 甲板員 男性 58歳 受有免許証なし
死傷者等	死亡 2人（船長、甲板員）
損傷	全損（転覆後、波浪により破砕して沈没した。）
事故の経過	本船は、船長ほか甲板員1人が乗り組み、平成22年2月17日16時30分ごろから翌18日03時40分ごろの間、壱岐島西方約2.4海里（M）沖でイカ釣り漁を行い、郷ノ浦港へ向け東進中、05時30分ごろ「波をくらった」という僚船への無線交信を最後に、連絡を絶った。 漁に出てきた漁船が、07時50分ごろ、転覆した本船の船底にしがみついている船長及び甲板員を発見したが、風と波で接近することができず、海上保安庁に救助を要請したものの、救助を待っている間に、2人とも行方不明になった。 船長は09時17分、甲板員は09時32分に、海上保安庁のヘリコプターにより発見、救助され、病院に搬送された。 船長及び甲板員は、病院で死亡が確認され、溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風速 約18m/s、視界 良好 海象：波高 約3m、海水温度 約15℃ 海上風警報が発令されていた。

その他の事項	船長、甲板員とも救命胴衣を着用していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長、甲板員とも死因は溺水であった。 本船は、吉岐島西方約24M沖を左舷方から波と風を受けて東進中、転覆したものと考えられる。 本船が転覆した状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、吉岐島西方約24M沖を左舷方から波と風を受けて東進中、転覆したため、発生したものと考えられる。	